

パネルで見る災害の脅威と防災・減災対策

— 福井市にて「防災パネル展」を開催 —

— 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン — 九頭竜川ダム統合管理事務所

福井駅東口側の商業施設アオッサ1階アトリウムにおいて「防災パネル展」を開催しました。このパネル展は、大きな被害をもたらす台風や地震などへの防災・減災への意識向上を目的として実施しているものです。

真名川ダム建設の契機となった奥越豪雨(昭和40年9月)による旧西谷村の災害などの貴重な過去の災害記録、国土交通省の近年の災害対応状況、ダムの役割などの紹介を行いました。

過去の災害の記憶を思い返す方や、近年頻発している風水害や地震災害への関心の高まりからか、幅広い年齢層の方が足を止めて熱心にご覧になっていました。

イベント概要

- 開催期間：平成30年1月12日(金)～1月17日(水) 10:00～17:00
- 場所：福井県福井市(福井駅東口側商業施設アオッサ1階アトリウム)
- 観覧者数：約500名
- 主催：九頭竜川ダム統合管理事務所



展示・観覧状況

【観覧者の声】

- 何年も経つとついおろそかになりがちな防災ですが、時々こういうパネルを見せて頂くと気が引き締まります。
- ダムの役割が改めて分かりました。図や表で説明しているところがよかったです。
- あまり見る機会のない写真などの掲示によって、防災について関心を持つきっかけとなりました。
- 自然災害の怖さ、普段からの災害に対しての準備、心の準備が必要だと感じた。

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)